

— 新生幸田町ばんざい —



第 56 号

発行所  
愛知縣額田郡  
幸田町公民館  
印刷所  
岡崎活版所

祝 辞

本日こゝに、幸田町の町村合併祝賀の式典を挙げられるに当り、一言祝意を表す機会を得ましたことは私の最も欣快とする処であります。  
顧みれば、幸田、豊坂両町村は、郡こそことなれ、東海道本線幸田駅を玄関口として、人情風俗ともに非常な親密の間柄にあつて、これまで広田川を狭んで農産物、林産物等の供給地として発達し時代的に眼覚めた者は数十年前既に合併の機運を孕んで居たものの、その機が熟さないままに町村合併促進法の施行を迎えたのであります。

こゝに両町村においては逸早く時勢を察知され、急速に町村合併をして一層確固たる自治体を建設する必要を痛感せられ、本年一月以降慎重な協議を重ね、八月一日内満裡にめでたく新しい幸田町が発足したのであります。しかし乍らこの郡を越えての新設合併は、県下最初のものであるばかりでなく、学校の統合等種々の困難が山積しておつたにも拘らず、その障害を美事に克服されましたことは町村当局者初め関係各位の機まざる御努力と、一万七千町民各位の愛郷心による絶大なる御理解の賜でありまして、この御努力に対し衷心より感謝すると共に深く敬意を表して止まないのであります。

惟うに当町は、額田郡最南端に位置を占める郡内最大の町であり、南に蒲郡市を控え往古より東西三河をつなぐ交通上の要衝で、水利の便に富み米の産地として、又林産物の供給源としての機能を果して来たのであります。更に戦後急激に工業が勃興し、特に三菱レイヨン幸田工場の進出を見るに至りまして、新しい工業地として目ざましい発展を遂げられ、その恵まれた立地条件と相俟ち、将来大いに躍進発展が約束されておるところであります。

しかしながら新生幸田町の建設は、一にかゝつて町民各位の双肩にかゝつていと存じます。希くば旧習を打破し、互いに相和して町勢の伸展に尙一段の御努力あらんことを切望致しまして祝辞と致します。

昭和二十九年十月六日

愛知県知事 桑 原 幹 根

### 合併祝賀の式辞

穰り豊かに菊の花薫る清涼快適の秋、待望の幸田、豊坂両町村合併が去る八月模範的に施行されましたその祝賀の式典をわれらが最も敬愛する桑原愛知県知事殿の御臨席を辱うして挙げ得ます光栄を、先ず以て皆様と共に御慶び申し上げます。

申すまでもなく自治団体の発展は各部機関の齊整統一と住民の融和親睦にまたなければなりません。それ故規模の小なる程功を挙げ易く、その組織の大なるもの程績を成し難いので世に模範村を農山の小村に多く見るに反し優良都市の極めて稀な所以であります。

然るにひとり本町は自治制が布かれて満六十五年の春秋を経ました今日よくその間自治の真髓を發揮し、公共の福祉を増進して地域の広まる毎に町勢愈々伸展興隆し、益々その名声を博するに至りましたことは、偏えに県当局の周到懇篤な指導助言は勿論ながら、歴代為政者の熱誠真摯な献身的努力の奉仕と、それに應えて相扶け相勵ましあつた町民一同の和衷協同一円融合の賜と申さねばなりません。

即ち耕地整理による土地の改良、

停車場設置に伴う工場誘致と商工の大発展、人口の増加と交通網の整備に続いて町制の実施、公民館活動による「明るい住みよい町づくり」の推進等々枚挙に遑ありません。

たまたま昨二十八年九月、法律第二五八号による町村合併促進法の公布に基き、こゝに郡界を越え他に懸けて多年の宿望を達成し、最も理想的な、文化の薫り豊かに明るい健康な新生幸田町の輝かしい誕生となり誠に慶賀の極みに存じます。

今後は、今日の感激を深く心のカマエに銘記して、子々孫々に永久に伝え、倍旧の精進を誓つて組織の複雑化と共に、ともすれば醸成され易い情弊弛緩の潛入を厳に戒めまして地方自治の理想顕現に一路邁進し、尽きせぬ文化の泉くみとりつゝ、全国モデル町村となり、平和な理想国家としての新日本建設に専心努力することを念願して、

謹んで本日の式辞といたします。

昭和二十九年十月六日

愛知県額田郡幸田町長

本 多 伴 吉

### 御挨拶

今回新生幸田町の発足に当り不肖初の町政に参加させていたゞく事になりましたが、生来の愚鈍短才、加へて自治行政には全くの無経験でありまして、如何に御厚意の賜とは申せ余りの無藝、不廉恥のそしりを免れないと存じます。

しかし私も幸田町民の一人であります以上、皆さんと同様幸田町の発展を願うの熱意には何等変りないと思ひます。一旦お受けした上は、微力驚馬にむちうち、公平無私、公僕力精神を体得具現して、明朗な町育成に努力したいと存じます。何卒先賢の各位、一万七千の町民の皆様、忌憚のない御叱正御助言を賜わる様切にお願い申し上げます。

幸田と豊坂は相隣接し、地勢、産業、民情等がよく類似し、往時から人事、物資の交流も極めて密接で、早くに結ばれる因縁にありながら、郡界の枷にはばまれて結ばれ得なかつた因縁にありました。今日遂に之が実現の時が参りました。そうしてこの生まれた新しい町を哺育育てあげて行くのは、かゝつてわれわれ

助役 本田 桂

町民の力に俟つより外ないと思ひます。

青糟の連峰に包容された平和郷、豊饒な農産、近代的な工場、発展性のある商街、健康で衛生的な町相、国鉄幹線の貫く理想郷の幸田町が、われわれ町民の力によつて、より高度の「明朗で豊かな文化町」に築きあげられて行く事を念願して止まないのであります。

町民の各位、どうぞ郷土愛の熱意と上和下睦の精神を以て絶大の御協力を賜わらん事を切望いたします。聊か御願いと愚見を述べて御挨拶といたします。

### 人口動態 (8月分)

出生	22	{男 14 女 8}	累計 116
死亡	9	{男 4 女 5}	211 {39 47}
死産	1		86 {2 }
婚姻	5		95
離婚	1		6

### 遠望峰クラブの活動

小林 隆

我がクラブは左の誓いをモットーとして定例会の度毎に之を誓い、クラブ員として全からんことを念願して精進している。

- 一、明晰な頭脳
- 二、忠実な心
- 三、人のために役立つ腕
- 四、生活の向上に必要な健康。

次に活動の一端として、共同プロジェクト水稲展示圃の生育状態をお知らせします。

- 1 目的 各品種の特性を知ると共に一般人に対し啓蒙を兼ねて、正しい指導の下に行う。
- 2 成績 中間分蘗、出穂期調査

播種五月七日、田植六月二十八日  
BHC 粉剤撒布八月二十七日

品 種	七月五日	八月十日	九月十日	出穂期	稈長 (九月十五日)	本 田 肥 料
東海四号	十七本	十七本	十五本	九月五日	一〇四・六	N二貫
かおり	十三	十四	十三	六日	一〇三・〇	P一貫
ふもと錦	十四	十三	十三	八日	一〇一・〇	K一貫二〇〇匁
初 霜	十九	十八	十七	八日	一一〇・六	
東山八号	十九	十九	十七	九日	一一四・〇	
力 錦	十八	十八	十六	九日	一一〇・〇	
新山吹	十七	十六	十六	一日	一〇〇・七	

植付本数(坪当)六十株(一尺二寸×五寸)

### 四日クラブ

#### 連絡協議会なる

今回の合併に伴い四日クラブも再発足することとなり去る八月十七日役場で、幸田町四日クラブ連絡協議会創立総会を開き、各クラブ会長で規約制定や役員選挙、事業計画、予算等を審議決定して新発足した。各クラブ共、それぞれ額田稲豆に

おいて活躍して成果を収めていたのであるから、一層皆様方の御指導御助言により倍旧の活動を誓つてやみません。

- 一、役員
- 会 長 牧野 栄
  - 副会長 成瀬 文雄
  - 書 記 坂本 定雄
  - 会 計 杉浦 康雄
  - 監 事 山本 勉
- 稲吉 輝雄
  - 小林 隆
  - 近藤 武一
  - 羽根淵常茂

### 菊根分譲お知らせ

鷺田園芸組合栽培の菊苗を希望のお方は一株五円(品種により多少の差あり)ぐらいの値で分譲されますから至急農協技術員まで申込んで下さい。

種類 八月咲  
九月咲  
十月咲

### 第七回畜産品評会入賞者

- 優等 和牛 大草 水野七五郎  
乳牛 里 岩瀬利三郎  
豚 北鷺田 成瀬 泉
- 一 等 八名
- 和牛 内田義治 山本信市
  - 乳牛 岩瀬 彰 豚 中村 学
  - 細羊 稲吉短一 山羊 岩瀬利喜松
  - 馬 大竹孫一 鶏 山下友三郎
- 二 等 一四名
- 和牛 安藤貞一 新見勇夫
  - 内田 斌 三浦 清 平松実
  - 乳牛 鈴木彦市 豚 羽根淵市松
  - 細羊 鈴木一二三 杉浦真吉
  - 山羊 加藤 修 杉浦義夫
  - 馬 音部末蔵
  - 鶏 藤江 充 近藤富夫
- 三 等 二四名
- 和牛 小野吾市 山下謙一郎

### 犬山市商工視察

幸田町商工会 四班

四月二十日北部班四名は、犬山市へ十一時半に到着し市内目貫を一巡り市役所に商工課を訪れたが、市長選挙運動中で誰にも面談できなかつたことは残念であった。

犬山市は、市と観光協会が一体となり「観光犬山」の発展に力こぶを入れていようとか、商工会は一向関係なく、会員と僅かの助成金とで売出し、市街美化等発展会を町毎に作り、思い思いの事業を行つていくにすぎず、活気がない。

観光地と都心ということに一段の研究が必要だと感じた次第である。犬山城の天主閣から日本ラインを眺めて、犬山市の発展を祈りつゝ帰つた。

# 高くもりあがる力

すみよい あかるい すこやかな 町づくり

社会体育シリーズ (4)

社会体育実験指定

高力分館のあゆみ



のびのびと

ボールはすめば

心もはずむ

「高力ノ 高力ノ 高力ノ 高力ノ」と名鉄西浦線のバスガールのはなやかなソプラノにふと車窓をのぞくと

## 年中無休

ラジオ体操の会  
バレエ・ボールの集い

の立札が瞳に強く映る

トランペットから爽かなリズムの流れつさせぬここ幸田町高力分館地域(幸田駅から三軒バスで一〇分)八十九世帯、五百八十名は、「ラジオのものいわぬ日はあつても、ボールに親しまないことは一日もない。」日本一を誇る岐阜県山之内村にも優る「社会体育レクリエーション」が、家庭のすみすみまで漲っている明るい健かな新生活の里である。

○

何をおいても明るい、住みよい、和やかな郷土の建設は「まず健康」が第一です。でも病氣しないだけの動物的な健康ではなく、  
「身体も精神も人と人の関係も全くうまいくいつている。」人間として真の楽しい営みを永く持ち続けて個人・家庭から地域社会に及ぼし、日本・世界全人類に光明を与える。という楽しくもすばらしく輝かしい大きなゆめ(希望)をもつて、老人も、子どもも、男も笑顔、女の笑顔、アハハオホホで高なる胸をボールにはすませて誰もが努力を微笑みつつ語る。



郷土史料 (その四十八)

俚 謠

志賀又郎

六、地 築 歌

○城内

音頭出し ご代はアーめでたのオー

若松さまアはウー

受け サアハリワイセエーノーセー

(第一の棒をストンと打ち下す)

○手揃い

出し エートナ エートーナ

受け エートナ エートーナ

出し やんわりからりとエートーナ

受け エートナ エートーナ

出し 揃えば出しますエートーナ

受け エートナ エートーナ

出し ア、どつこいさともちこめ

受け エートーナ

受け ヨーイサアアアンセイ

受け ヨイヤナ アラセ コラセ

○かけつか

出し ご代はナーヤツバリめでたの

受け ハ ヨイトモ ヨイトモ

出し 若松ウさまはナー

受け ハ ヨイトモ ヨイトモ

出し ヨイナ枝もオ栄えて

受け 栄えて枝もナツコノエー

出し 葉アもオしげエる

受け ヤレモサ オヤヤレ

○早がけ

出し ヤレマテセーイナこれから

受け ヨーイヨイサヤアアンセ

出し おまアやナー百までエー

受け エーエン ヤラ

出し わしや九十ウ

受け 九までイナーヨイヨイヨイ

出し 共にイ白髪アのはゆるまで

受け サアソラバ生きたいのじや

受け エーインヤラ

受け ヨーイヨイサヤアアンセー

受け エンヤラ

○たばこ(休まんとする時)

出し これで煙草だにはアやさぬか

受け サツツツサアアア

出し 煙草だといやよい声かけーる

受け エーヘンヘエイ

出し ヨーイヨイヨイトコネー

受け ようひく若手がエーイヤナー

受け エーインヤラ、ハリワイサナ

受け エンヤコノヤレコノ如オイ

受け はござアラぬエー

出し ヤツサイ(三度くり返し)

受け ヤイサイ(三度くり返し休む)

○峯の小松に雛鶴かけて 谷の流れ

に龜あそぶ

○竹に雀はしなよく止まる とめて

とまらぬ色の道

○東山からおん出る月は サンサ車

の輪の如く

○サンサ鯖のすしや 圧されて開く

姉さ島田はねてひらく

○サンサ三五郎さへお気りようがよ

いで村の娘が皆はれる

○おらがおせどのむやりちやの娘

誰かもらうそで酒が来た

○酒をのむ人憎いよでかわい 御神

酒あがらぬ神はない

○あのみ御普請はどなたのごふしん

だ 縦が三三が丸間に 横幅四間

半 三尺ひさしに総瓦

○鳥も様々 孔雀 鳳凰 金鶏鳥

私の好いたは尾長鶏

○花も様々 つつじ 椿や かきつ

ばた 私の好いたは糸ざくら

○枕様々 吉原枕に まりまくら

三味線枕に 私の好いたは膝枕

○あの又姉さんに一寸御意見申した

い髪を島田にゆうよりも心はまだ

にしやんともて

○西行法師が初めて東へ下られる

宮の熱田で休まれた 西を向いて

も風がくる 東へ向いても風がく

る 南を向いても風がくる 北を

向いても風がくる 東西南北風が

来る これほど涼しきお宮をば

なぜに熱田とつけられた そこへ

神主とんで来て これこれ申し坊

さんへ西という字はにしとよむ

行という字はゆくとよむ 西へ行

くべき坊さんが なぜに東へ下ら

れる そこで西行さんのいうこと

にや 物の道理でいうたなら 一

羽の鳥でも鶏と 葵の花も赤く咲

く 雪という字も墨でかく 小判

なりの桶をまるといふではないか

いな

合併 幸田音頭

のば やじろべ

○遠望峰 茶臼の山屏風

広い幸田と豊坂が

アハハ オホホ

抱きつ抱かれつ 和やかに

○幸田稔れば黄金波

つむぐ三菱ブラチナよ

アハハ オホホ

駅がとりもつ 西東

○させや花笠 藪まじえ

とぼね饅頭に久保田の茶

オハハ オホホ

右も左も よい心地

○昔なつかし 村と村

今じや文化のモデル町

オハハ オホホ

豊栄のぼる 幸田町

幸田町議会議長

常任委員等きままる

議長  
副議長

岩瀬縫太郎  
山本 誠市

○常任委員会名簿 (○委員長)

総務委員会

平田 若松

後藤 勝美

杉浦 種一

税務委員会

浅井 与市

金子 鶴子

山本助治郎

勸業委員会

永井仁之助

杉浦 真一

平井 久

厚生委員会

鴨下 鏡平

内田 義治

稲吉 広治

土木委員会

鈴木 末吉

大須賀喜代治

児玉 吉次

文教委員会

石川 佐市

○金沢仲次郎

鈴木寅之助

加藤 泉

志賀 保

○大須賀仁一

高橋 助市

有馬 茂男

大須賀数一

○本多 源吉

松山 新二

貝吹 信次

○永井 朝市

星野 桑吉

中村 賢治

○都築友太郎

清水 周平

平岩精太郎

糟谷 栄

○大津米太郎

神本 徳市

幸田町区長名簿

牧野 宗一  
大須賀弥助  
左右田憲一

区名	氏名	生年月日	年令
長嶺	山本 清	大6 12 20	36
久保田	山本 敏男	大6 3 27	40
坂崎	小林 岩夫	大4 4 10	39
大草	小野磯之丞	明34 2 12	53
高力	谷川 重市	大2 5 8	41
新田	都築 信雄	大6 3 1	37
鷺田	石川 朝吉	明33 2 23	41
岩堀	清水源治郎	明33 1 5	54
横落	中根 秋定	大3 11 20	54
萩谷	稲吉 矩一	大3 6 4	56
芦谷	山田 俊彦	大4 3 2	47
幸田	牧原 惣一	大26 6 3	61
三菱	大口 喜三	大43 2 25	44
里谷	中根 順治	大38 10 5	49
海谷	福沢 春治	大37 2 1	50
市川	斎藤 小市	大35 8 6	52
逆川	稲吉 貞夫	大44 11 29	41
桐山	稲吉 正逸	大44 5 5	39
上六栗	大須賀一三夫	明45 2 2	42
六栗	志賀 竜平	大31 12 22	56
野場	杉浦 弥重	大23 3 17	63
永野	鈴木 吉造	大34 12 15	63
須美	岡安 清造	大8 4 17	53

額田郡幸田町農業委員名簿 (届出順)

議席	氏名	生年月日	年令	住所	備考
1	山本 吉	大43 1 2	44	永野字山川間二〇	
11	山本 正和	大41 4 20	46	大草字寺西五一	
19	小玉 五三	大25 1 15	62	菱池字西臨一六	
12	浅井 三徳	明39 1 2	48	坂崎字小道畑二八	
5	神本 徳	大元 2 5	42	深溝字上池田一三	選任
13	天野 計	明38 4 30	49	野場字三田堂三一	
18	鈴木 流	大5 10 3	38	深溝字中ノ島六	
10	田境 思	大33 6 18	54	須美字元屋敷二五	
3	長谷 一	明43 3 13	44	桐山字播ノ木二〇	○会長代理
15	岩瀬 源	大7 8 29	36	上六栗字金ヶ崎一〇一	
8	小野 宗	明29 3 11	58	久保田字柴崎四七	
16	小井 与	大4 4 10	39	坂崎字形添八ノ一	
17	浅井 与	大35 10 14	51	菱池字山ノ郷四一	
14	宇野 武	大36 1 22	51	芦谷字北屋敷二九	
4	稲吉 武次	大33 5 7	54	萩字城跡六六	○会長
2	本多 伴八	大22 4 8	65	菱池字新田三二	
7	谷川 八	大42 2 25	45	高力字熊谷七四	
21	清水 嘉	大39 8 23	48	大草字羽根二四	
6	清川 嘉	大38 11 29	48	菱池字羽根二二	
9	岩瀬 大	明20 2 2	67	深溝字柳榎手一	

『明るい健康の町づくり』

全国五ヶ町村を

モデル地区として発足

今回 明るい健康の村、モデル地区を左記のように、朝日新聞厚生文化事業団で選定、九月二十五日朝日新聞紙上に社告発表されました。

- 青森県 中津軽郡 千年村
- 岩手県 西磐井郡 弥栄村
- 栃木県 河内郡 絹島村
- ◎愛知県 額田郡 幸田町
- 岡山県 赤磐郡 山陽町

由来村づくりなどという大事業が中央の机の上から生まれる筈のものではなく、また学者の論文や議論のみで解決されるものでもないことは言うまでもありません。村人自身が自らの手で深い認識と熱意を以て自ら企画運営、営々として苦心の仕事を積み重ねて、はじめて可能な仕事と私どもは承知しております。

しかしそれがただ一つの限られた町村内だけの研究と工夫に止まらせることなく、この尊い体験を五つの町村互いに交流し、更に次の上に中央の学識経験者の広い眼をもつた適宜の指導が加えられることによつて一段とより合理的に、科学的に推進できるのであると期待する。

ことばのあや

—ときのひと—

- ① 本来明るく 健やかで 多様な民主生活に伴う施政を改善し 吉に導く 名町長
- ② 清濁あい呑む雅量もて 水準線を高むべく 繁務も敏く整える 雄々し 新進収入役

増産百語

天命十訓 (十)

もし行きとどかさる時は、万事をなげうつて孝道に基づき、小兒始め二男、三男等に至るまで、親類懇意を頼み、又は賃日雇等にもさし出し、その外いかようにも辛苦かんなんを身いたし、御田地受け戻し、御先祖より伝え受けたる家株を全ういたす、これを道という。この売り渡し残り小高の道は、しばらくも離るべからず。離るる時は、売り渡し小高の道にあらず。小高の道をつとめずして、小高の勤労に怠れば、果して小高の道にそむけば、終に自然と暮し方ゆきとどかず、御田地受け戻しかね、暮し方ゆき届かざれば、滅亡に及んで後悔致さざるものは社会に少し。

(二宮尊徳翁の言葉)

- ② 本末正しく弁えて 田園文化の「町づくり」 桂冠ある町勢に 助言補導も撓みなき 役責果す 新助役
- ④ 岩をも貫く 信念に 瀕踏み確かな体験を 縫合 整備 活用し 太古を温ね 今を知る 郎党慕う 名議長

料理クラブメモ (萩谷社会学級)

○親子丼の上手な作り方

榊原先生指導

要領 浅い親子鍋に 八方汁を入れ 肉、玉葱を加えて一寸柔かくなつたら 卵を軽くかきまぜて(白みと黄みが区分できる程度)一面に流しこみ、半熟のころを見計らいすべらせるようにして ご飯の上のせ、海苔、グリーンピースなどを散らせる。

(八方汁の作り方)

- 煮出汁 五勺 酒 一・五勺
- 白砂糖 一匁弱 醬油 一・五勺

材料 鳥肉の薄切 四、五枚(約一〇匁) 煮出汁 七勺 玉葱 一三匁 青味 海苔(少々) 卵 一個

○幸田町公平委員

鈴木兵助(久保田) 若林藤三郎(深溝) 永井茂吉(野場)

○幸田町監査委員

中村賢治(長嶺) 志賀与市(高力)

○固定資産評価審査委員

伊藤忠平(里) 山本賢太郎(坂崎) 伊沢小佐次(野場) 何れも十月四日選任された。

### 保月庵茶話

白梅会記

茶の湯も近頃の発達は目覚ましく文化人の教養として欠くことのできないものといわれる程にまで進んで来まして広く社会の人に親しまれるようになりまして。

こうした茶の湯も今から余程前まではなか／＼働く人達の世界からは遠く離れた近付くことも出来ないような芸事でありました。このように働く人達の間にも親しまれるようになり、誰もが習い親しむことの出来る茶の湯というものは、茶道の祖である利休居士の嘗つて希い導かれた教えの精神に流れるものでありまして、茶の湯は非常に贅沢な有閑人達の遊びであり、華美なものとはばかり考へられて来ましたが、真の茶の湯というものは決してそうしたものではありません。利休居士はかつて小田原の北条氏との戦で秀吉に従つて参りました時にも、藪から竹を切り茶入を作り、有り合せの枝で作った風呂を用いて一席をもうけ、秀吉が戦場の勞をねぎらつたとも伝えられています。またその頃までは書院式居室に於ての格式ある台子荘りつけ

の茶の湯を本としていましたが、新しく草庵式の侘びしさを根本とした茶道を大成して広く一般人にまで親しめる茶道になりました。

利休居士の弟子であつた南坊宗啓という人が茶の湯の奥義はと尋ねられた時に、「心の入つた茶は小座敷に如くはなし。家は洩らぬ程、食事は飢えぬ程にて足る。水を運び、薪を割り湯を沸かし、仏に供え、己れも飲み、花を生け、香をたき、始祖の行いの跡を学ぶのが茶の本意である。」と、当時としては新しい茶の湯のあり方を答えたという話が残つています。

茶の湯の益々隆盛を迎えている折柄茶の湯というものが兎角誤つて考へられたり、社会の生活からかけ離れたものであるように考へられ勝なことなどを思い、真の茶の湯のあり方を考へて見なくてはならない時であると思ひます。

一日を働き疲れた体にも、一時の松風に耳を傾け、一輪の瑞々しい花に心寄せ、一碗の茶に縁てを忘れることが、いかに茶の心に叶つていくかということも考えさせられます。

こうして毎日多くの人達の中に茶の湯は進んで行きます。長い間茶の

湯に親しんで来た者としまして茶の湯の進んできた有様や、四季に亘つての茶を、心つくまゝに話して行きたいと考えます。



### みんなのあかるい 美しい心の運動に！

— 三百六十五日の内の一日分を —

年に一度の明るい美しい心の運動として、赤い羽根の行事で全国的に寄せられる浄財は、凡そ十二億円、国民一般の生活は、決して余裕のあるものではありませんが、その生活の中から欣然と募金に応じて下さるのです。アメリカの共同募金は、あなたの一日分の収入を！と訴えてい

ます。つまり一年三百六十五日の内の一日は恵まれない人々のために、お互いの地域社会の福祉のために奉仕をして下さい—と叫んでいるのです。考えてみるとわれ／＼の生活のために、三百六十四日を、残りの一日は、お互いに共通する福祉のために—ということなのです。

### 昭和29年度幸田町共同募金

目標額 217,418円

内訳  
A級 目標額 87,792円  
B級 目標額 129,626円

### 昭和29年度共同募金幸田町目標額

区分	世帯数	A級		B級		合計目標
		目標額	人員数	目標額	人員数	
長久保	61	1,936	304	2,546	4,482	
嶺田	61	1,936	349	2,923	4,859	
久保	230	7,300	1,319	11,048	18,348	
坂	253	8,030	1,376	11,525	19,555	
高	86	2,730	568	4,758	7,488	
高	149	4,729	918	7,689	12,418	
新	34	1,079	183	1,533	2,612	
岩	255	8,093	1,403	11,751	19,844	
横	32	1,016	145	1,215	2,231	
萩	117	3,714	658	5,595	9,309	
谷	137	4,348	876	7,337	11,685	
市	183	5,967	956	8,007	13,974	
里	185	5,872	1,005	8,418	14,290	
海	154	4,888	837	7,011	11,899	
三	98	3,111	567	4,749	7,860	
野	88	2,793	321	2,689	5,482	
水	215	6,824	1,250	10,470	17,294	
須	61	1,936	369	3,091	5,027	
六	85	2,678	488	4,087	6,785	
上	77	2,444	422	3,535	5,979	
桐	77	2,444	442	3,702	6,146	
逆	75	2,381	434	3,635	5,016	
川	48	1,523	276	2,312	3,835	
合計	2,766	87,792	15,476	129,626	217,418	